

化率はどのようになっていくのか。今後改修等で多額の経費がかかるが、加入促進への障害と対策は。

Q：浅貝地区水洗化率は19年度末で約76%、公共下水道は約83%。平成16年から接続率の悪い地域に戸別訪問を行っている。景気低迷で厳しいが年間30件強の接続をいただいている。

Q：公共と特環の運転管理費約5千8百万円、有資格の町職員がいるなかで分担管理を検討したことがあるのか、できないのか。

A：検討したことはない。また、職員がどういう形で関わられるか専門的知識がなくなる。

Q：料金の滞納と水道量が減る方と、今後料金の値上げ否かで財政を立て直すことができるか、徴収の立場から思案があったら聞きたい。

A：上下水道は連動して徴収している。2月末現在の徴収率は0.1%落ちているがほぼ前年度並みである。最近景気動向で厳しく振替不能が徐々に増えている。水道料へは優先的に入れているが税は3月に減額補正したのが実態です。

■地域整備課 水道事業会計

Q：建設改良費の件で、20年度に何度も補正して指摘した経緯がある。21年度はこの点精査したのか。

A：管工事についてはある程度精査してある。計装盤関係は簡易な見積で行った。

今年はそのようにしたつもり。

■健康福祉課 一般会計

Q：子供医療費は今回県の補助の拡大もあって小学生卒業までとしたような気がする。生活のサポートを考えた中で、他の町村では中学生まで拡大している。このことを参考に議論したのか。1/2補助で150万円予算、実際の経費は多額だが、県の助成の内容は。

A：子供医療費の助成については、課内では中学卒業まで議論した。県は21年9月から小学3年生第3子までに限って、入院費は小学校卒業まで1/2補助、通院費は保育園児まで県補助、他は町単独事業で先進地を行っている。小学校卒業までは湯沢町をはじめ1市3町1村。今後は段階的に中学校卒業までを検討したい。

Q：総合福祉センターの清掃委託費は、入札方式化か。また、今までと比べどうか。

A：5社からの見積書に基づき契約している。契約額は年々減り通常の半額になった。

Q：毎年実施している敬老会に参加しない人への配慮はどうなっているのか。

A：敬老会への参加対象者75歳以上の人数1310人中、欠席者は67人と思われる。この人たちにはタオルを配布している。

■健康福祉課 介護保険特別会計

Q：病院4階の療養ベッドが全部介護型になる第4期計画になることがはっきりしている。町民にとってはありがたいが、介護保険会計上見込んであるか。

A：第4期計画にはこのことを見込んでいない。従って、計画の変更をしなければならぬ。

■健康福祉課 国民健康保険特別会計

Q：保険料が昨年は下がり今年また上がってしまったと繰越金落ちてしまう。できるだけ当初予算の範囲で上がらないようにしないと国保そのものの徴収率が落ちる。

A：昨年は基金の取崩し、3千人の保険者とする一人当たり8千円減額していた。今度はこれらがなくからこの分と収納率の状況から上げざるを得ない。このことは運営協議会の委員からも上げないよう指摘を受けている。なるべく上げ幅を抑え信頼のおける国保会計にしたい。

Q：税の徴収を主眼において、保険者の実態の配慮に欠けているのではないか。資格者証で果たして収納率が上がるか疑問である。資格者証の受診率が一般の方の1/20と殆ど医者にかかっていない。資格者証の検討委員会がどう判断して決めているのか。町民の生命を守る

役割が町にあるのではないか。

資格者証の実態については、資格者証の検討委員会で実態を把握して決めている。ルールに基づいてやむを得ず行っているものの、さらに踏み込んで調査したい。

Q：出産一時金の支給施行日を年の1月からとして公正に取扱いでできないか。

A：出産一時金の2/3が一般会計からの繰入金、残り1/3が税からである。市町村によつては委員会の指摘のように単独の条例で実施しているところもあるが、町は国県の準則に基づいて実施している。

■健康福祉課 老人保健特別会計

なし

■健康福祉課 後期高齢者医療特別会計

Q：町独自の施策はあるのか。

A：殆どが県広域連合会で算出された数値で実施している。従って湯沢色はない。

■健康福祉課 病院事業会計

Q：利用料金制を採用したことにより、経営状態が見えなくなるのではないか。そうした中患者数が年々減少の傾向にあるが。

A：平成20年度の実績に基づいた数値である。

Q：医師住宅に院内保育所を設けているが、改築主と保育園の利用状況は。

A：有資格の保育士3名に園

児10名の院内保育園である。また、国の基準から8千万円の補助金の内、500万円を補助していることになっている。

■町民課 一般会計

Q：斎場の改築計画の詳細を教えてください。

A：平成19年度から22年度の間2階建ての斎場を改築する計画である。20年度に4800万円ほどで実施設計と周りの実施設計を進めてきた。21年度では土地の造成の継続と本体建設と火葬炉の構築、ダイヤオキシンの調査委託、ホールオキシンの調査委託、ホールの管理が主。施設の供用開始の目処は22年10月。建物の概要は鉄筋コンクリート造2階建て、延面積は1642㎡の火葬炉4基のほかベットの火葬炉1基であります。他に待合室・告別室2室・ロビー・収骨室2室。約12億6536万円の建設費予定。21年度4億8832万円・22年度7億4260万円。

Q：保育園費の関係で常勤の臨時職員の数は。

A：保育園正職員は園長5名プラス29名、臨時保育士は浅貝パート調理職1名を加えて12名となっている。21年度は調理職1名臨時職員となっている。

Q：先ほどのアンケートの中に適正配置のことがありました。保育園の運営に関する地域の意見が活用されるのか。

A：アンケートの中に、統合